

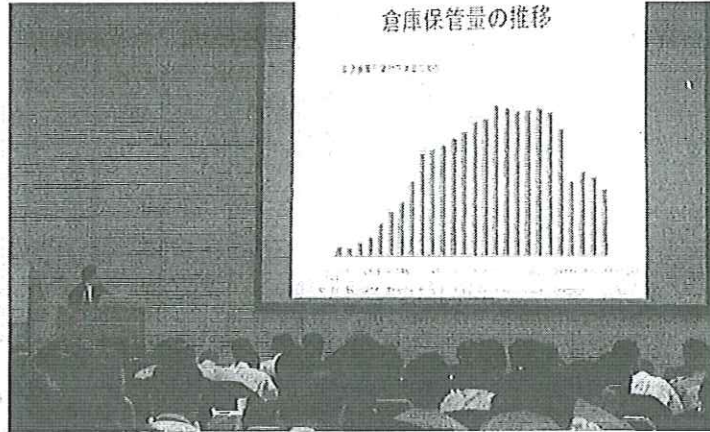
輸送経済

THE YUSO-KEIZAI

第2872号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

12/1

平成21年
(2009)
(火曜日)
週刊



講演する中田教授

倉庫業のあすを模索

日倉協・物流フォーラム

新たな付加価値創造へ

日本倉庫協会(安部正一会長)は十一月二十日、都内の経団連会館で第六回物流フォーラムを開く。テーマは「これから通に伴う大規模開発などの倉庫業を考える」。全体会と分科会の二部構成で進行。会員事業者およそ三百人が参加した。全体会でははじめに、全国十三地区の状況報告

が行われた。七、九月期の倉庫稼働率は全地区で前年同期比を下回った。一方、三年後の圏央道開通に伴う大規模開発など、景気回復への好材料も報告された。

続いて、中田信哉神奈川大学経済学部教授が「これからの倉庫業のあり方」をテーマに講演。5テーマで分科会を行う

中田教授は「倉庫業への新規参入、新規競争は市場を拡大させる。保管、金融、情報と付加価値が多機能にわたり生まれてくる」と現状を述べ、今後の倉庫業の方向性として、「機能分担による差別化」「保管、加工、流通を複合化させた他産業の取り込み」「国際市場への進出などを示した。分科会では人材育成「運営効率化」「現場強化」「債権確保」「事業継続計

(飯野 八洲)